

指定管理業務評価表

施設名	小牧市総合福祉施設ふれあいセンター		
対象年度	30年度	評価担当部	健康福祉部
指定管理者名	社会福祉法人小牧市社会福祉協議会		
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日		
職員体制	嘱託職員1名、臨時職員1名		

1. 利用実績

(1) 利用者数 計 39,424 人 (前年度比 約 98%)

前年度利用者数 39,863 人

4月	5月	6月	7月	8月	9月
3,582 人	3,485 人	3,825 人	3,411 人	2,666 人	2,525 人
10月	11月	12月	1月	2月	3月
3,663 人	3,680 人	3,107 人	3,148 人	3,355 人	2,977 人

(2) 増減要因

年間の利用者数は、29年度と比較して439人の減員となっている。ボランティア団体等が高齢化しており、解散した団体もあることが、利用数が減少している原因と考えられる。

2. 利用者アンケートの結果

実施期間	平成30年7月1日～7月31日	回答数	43枚
	平成31年2月1日～2月28日		48枚
利用者の 主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しく安全に利用させて頂いています。</li> <li>・部屋代が無料で助かります。</li> <li>・閉館ギリギリの利用でも親切に対応していただいています。</li> <li>・蛍光灯が点滅しているところがある。</li> </ul>		
具体的な 対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービスの質の向上を常に考えて業務に臨んでいる。</li> <li>・蛍光灯の点滅は、発見又は報告があり次第LED電灯に交換し、速やかな対応に努めている。</li> </ul>		

### 3. 収支の実績

(単位：円)

		29年度 (前年決算額)	30年度 (現年決算額)	元年度 (翌年予算額)	備考 (主な内訳、増減要因)
収入	指定管理料	57,396,019	55,800,000	59,057,200	
	事業収入				
	合計	57,396,019	55,800,000	59,057,200	
支出	人件費	4,632,634	4,648,384	5,594,000	
	報償費				
	旅費				
	需用費	18,627,660	19,067,117	21,655,200	光熱水費・修繕費等
	役務費	961,645	812,030	781,000	通信運搬費・手数料等
	委託費	27,914,951	27,726,850	30,059,000	保守管理費・ 業務委託費等
	その他	892,164	1,031,037	968,000	借上料等
	合計	53,029,054	53,285,418	59,057,200	

### 4. 評価

項目	市の評価
運営業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の福祉活動の拠点として、市民の福祉ニーズに応じた各種相談、ボランティアの育成、福祉に関する情報を発信している。平成30年度より、偶数月の第2土曜日に、ボランティアセンター窓口を開設している。</li> <li>職員に対しては、県社協、市の研修への積極的な参加を促し、スキルアップを図っている。</li> <li>スキルアップを図るとともに臨時職員から正規職員への登用を行い、サービスの質の確保に努めている。</li> </ul>
維持管理業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>老朽化した施設・設備であるため、日々の点検を確実にを行うとともに、報告書を作成して、関係各機関へ提出している。</li> <li>施設の清掃が適切になされ、美観が保たれており、利用者が安全・安心に施設を利用できていると評価できる。</li> </ul>
サービスの質	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者アンケートから、適切なサービスが実施されていることが分かる。引き続き、より快適な施設運営になるよう一層の努力を行っていくことを期待する。</li> <li>職員に対しては、適切な教育や研修の受講がなされており、アンケート結果にもあるように利用者の評価は高いものであった。</li> </ul>
収支状況及び経費節減	<ul style="list-style-type: none"> <li>照明の間引きや昼休み消灯の実施、冷暖房の温度管理や使用時間の短縮に努め、電気及びガスの使用量の削減に取り組んでいる。</li> <li>複数社での見積徴収が行われていない。</li> </ul>

<p>その他 (緊急時の対応等)</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 非常時の行動マニュアルも作成され、消防訓練と併せて避難訓練を実施している。</li><li>• 災害時にボランティア拠点として機能することを想定して、ボランティアに参加を募り訓練を行った。</li><li>• 組織内で防災マニュアルを作成しなおし、有事の際にも対応できる体制を整備している。</li></ul>
--------------------------	---